

早期俳句名人 (芭蕉、蕪村、一茶) 名句
343 台、華語 選譯 (018)

吳昭新 (瞻望)

52) 蛤のふたみにわかれゆく秋ぞ (芭蕉)

(hamaguri no hutami ni wakare yuku akizo)

蛤蜊的 殼肉分開 秋天時

蚶_フ仔_ノ兀_セ 殼_カ肉_ク分_ク開_ク 秋_{アキ}天_{トキ}時_{トキ}

(日語的 hutami 叫做 <掛詞> 是 <和歌> 修辭法的一種, 有雙重意思, 即 <殼和肉> 與 <二見> 兩種意思, 雙關語, 芭蕉在此要分開到 <二見ヶ浦> (地名) 去的意思.)

53) 四、五人に月落ちかゝるおどり哉 (蕪村)

(sigonin ni tsuki ochikakaru odorikana)

四五人 月即將落 在跳舞

四_シ五_イ人_カ 月_{ツキ}在_ケ要_セ落_ク 在_ケ跳_ク舞_{マシ}

54) 這へ笑へ二つになるぞけさからは(一茶)

(hae warae hutatsuninaru zo kesakara wa)

爬吧笑 今朝開始 已兩歲

爬_ハ更_セ笑_{マシ} 早_{ハヤ}起_{マシ}開_{マシ}始_ト 已_ナ兩_ニ歲_ト